

平成30年7月3日

各報道機関 様

行 事 等	岩見沢保健所管内における急性出血性結膜炎警報の発令について
日 時	平成30年7月3日 15時
場 所	
出 席 者	
内 容	岩見沢保健所管内において、急性出血性結膜炎警報が発令されたので、お知らせします。
参 考 (経緯など)	
取材(報道)に あたってのお願い	
担 当	北海道空知総合振興局保健環境部保健行政室 健康推進課長 山本 純子 (TEL 0126-20-0115)

急性出血性結膜炎の流行について（警報）

平成30年7月3日（火） 15時00分

北海道岩見沢保健所

電話：0126-20-0115

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、平成30年第26週（平成30年6月25日～平成30年7月1日）において、岩見沢保健所管内の定点あたりの急性出血性結膜炎患者報告数は、警報基準である1人以上となりましたので、まん延を防止するため警報を発令します。

今後、岩見沢保健所管内において流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いいたします。

記

1 急性出血性結膜炎の予防

感染性が非常に強く、患者の涙や目・顔を触った手で触れた物を介して感染するので、身近に患者がいる場合は、目や顔を触る前に良く手を洗うことやタオルの共有、洗顔時の洗面器の共有をやめ、患者の入浴は最後とするようにします。

点眼時に使ったティッシュペーパーは、ビニール袋に入れて捨てるようにします。

熱や乾燥に弱く、金属などは消毒用エタノールで拭くようにします。

2 急性出血性結膜炎とは

エンテロウイルスやコクサッキーウイルスが眼の結膜に感染しておこる感染症で、患者が触れた物を介した接触により感染します。

急に発症し、眼痛、結膜充血、眼脂（めやに）が主な症状で、片眼発症後に一方の眼にも発症するのが特徴です。また耳前リンパ節の腫れや押すと痛みを感じることがあります。

現在、有効な抗ウイルス薬はありませんが、細菌の二次感染防止のために抗菌剤の点眼薬が処方され、約1週間で治癒します。

学校保健安全法施行規則では、医師が感染の恐れがないと認めるまでは出席は停止となります。

3 その他

(1) 最近5週における定点医療機関からの急性出血性結膜炎患者報告状況

（表示は、「報告数(患者/定点)」単位：人）

	第22週 (5/28～6/3)	第23週 (6/4～6/10)	第24週 (6/11～6/17)	第25週 (6/18～6/24)	第26週 (6/25～7/1)
岩見沢保健所	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)※
全道	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.03)	2 (0.07)	- (-)
全国	0 (0.00)	0 (0.00)	11 (0.02)	18 (0.03)	- (-)

※第26週の患者報告数は速報値。

全道の急性出血性結膜炎流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。

(URL : <http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)

(2) 急性出血性結膜炎警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により把握した、全道の定点医療機関を受診した急性出血性結膜炎患者数が、国立感染症研究所において設定した警報レベルの基準値に達したときに発令し、大きな流行の発生や継続が疑われることを指します。

<急性出血性結膜炎の警報レベル>

	開始基準値	終息基準値
定点あたり患者数 (人)	1	0.1